

# 第10章

## 第三次滋賀県環境総合計画 「数値指標」の進捗状況

平成21年(2009年)12月に策定された「第三次滋賀県環境総合計画」の柔軟かつ適切な推進を図るため、PDCA型行政運営システム(計画(PPLAN)－実施(DO)－評価(CHECK)－反映・見直し(ACTION))によって毎年度進行管理を行い、計画の継続的改善を図っています。

平成22年度の「数値指標」の進捗状況は以下のとおりです。

### ● 平成22年度の取り組み状況と達成度

◆「目標の方向性」は、基準年度と目標年度を比較して、数値の増加を目指す場合は「↗(斜め上)」、現状維持を目指す場合は「→」、数値の減少を目指す場合は「↘(斜め下)」としている。

分類	指標内容	単位	基準年度	基準年度実績	平成22年度実績	平成25年度目標		備考	
						数値	方向性		
1 持続可能な滋賀社会の構築に向けた人育ち・育て	環境学習企画サポート件数(累計)	件	H19	496	1151	1,900	↗		
	びわ湖フローティングスクール(うみのこ)事業実施学校数	校	H19	(特別支援学校等含む) ※1	(特別支援学校等含む) ※1	(特別支援学校等含む) ※1	→	H22対象校数246	
	森林環境学習(やまのこ)事業実施学校数	校	H19	115	243	(特別支援学校等含む) ※1	↗	H22対象校数244	
2 持続可能な滋賀社会の構築に向けた基盤づくり	びわ湖環境ビジネスメッセにおける有効商談件数(累計)	件	H19	29,628	40,354	47,028	↗		
	環境こだわり農産物栽培面積	ha	H19	10,367	14,173	12,000以上	↗		
3 各分野別の環境施策の推進	(1) 地球温暖化対策	温室効果ガス排出量の削減率(平成2年比)	%	H18	7.7	8.0(H20)	9以上	↗	
		「みるエコおうち」プログラム取組世帯数	世帯		-	2,190	50,000を維持	↗	
		県内での太陽光発電による総発電容量	kW	H16	17,402	36,062	100,000以上	↗	
	(2) 自然環境	希少野生動物植物種の「生息・生育地保護区」の箇所数	箇所	H19	2	7	10	↗	
		人工湖岸を再自然化した累計延長	m	H19	2,930	3,800	3,800	↗	
		外来魚の推定生息量	t	H18	1,600	1,400(H20)	1,000以下	↘	
		県の鳥カイツブリの生息数	羽 ※2		629	805	800	↗	
		琵琶湖のヨシの面積	ha	H14	151	176.76	159以上	↗	
		緑化されている道路の延長	km	H18	183.9	238.8	240	↗	
		都市公園面積(県民1人当たり)	m <sup>2</sup>	H19	8.1	8.3(H21)	9.5	↗	
	(3) 景観・歴史的環境	年間伐実施面積	ha	H15	1,920	3,014	3,100	↗	H21琵琶湖森林づくり基本計画改定に伴う目標値変更(2,600→3,100)
		景観行政団体となった市町の数	市町	H19	7	8	10	↗	合併に伴う目標値変更(11→10)
	(4) 水・土壌環境	県指定(選定)文化財の件数	件	H19	375	397	435	↗	
		登録有形文化財の件数	件	H19	249	287	300	↗	
		県内主要河川の水質目標の達成率	%	H19	79	96	100	↗	
琵琶湖の透明度		m	H19	7.5 ※3	7.2	7.2	↗		
琵琶湖の水質		(COD)北湖	mg/l	H17 ※4	2.6	2.6	2.6以下	↘	
		南湖	mg/l	H17 ※4	3.2	3.6	3.1以下	↘	
		(T-N)北湖	mg/l	H17 ※4	0.32	0.25	0.30以下	↘	
		南湖	mg/l	H17 ※4	0.36	0.28	0.33以下	↘	
		(T-P)南湖	mg/l	H17 ※4	0.018	0.016	0.018以下	↘	
		琵琶湖のプランクトンの異常発生日数と水域数							
(アオコ)		日数	H19	5	16	0	↘		
水域		水域	H19	3	3	0	↘		
(淡水赤潮)	日数	H19	0	0	0	→			
水域	水域	H19	0	0	0	→			
琵琶湖の水泳場の「快適」ランクの箇所数	箇所	H19	7	3	10	↗			
下水道を利用できる県民の割合	%	H19	83.5	85.8	85以上	↗			
(5) 大気・化学物質・その他の快適環境	年間伐実施面積(再掲)	ha	H15	1,920	3,014	3,100	↗	H21琵琶湖森林づくり基本計画改定に伴う目標値変更(2,600→3,100)	
	整備を必要とする農業集落排水処理施設に対する整備割合	%	H18	97.3	98.7	98.7	↗		
	事業場排水基準遵守率	%	H19	95	90	100	↗		
	プレジャーボートの環境対策型エンジンの使用率	%	H18	29	59	100	↗		
	流域単位での農業排水対策の面積	ha	H18	14,036	15,176	16,200	↗	H22しがの農業・水産業新戦略プラン改定に伴う目標値変更(16,800→16,200)	
	二酸化窒素、浮遊粒子状物質に係る環境基準達成率	%	H19	100	100	100	→		
	各駅の1日あたり乗車人数の合計	千人	H18	343.4	346.1(H21)	349.0以上	↗		
	市街地における混雑時の自動車の平均速度	km/h	H17	23.8	25.1	28.5	↗	H22年度道路交通情勢調査の調査方法の変更にもなう目標値等の変更(30.0以上→28.5)	
	主要渋滞ポイント数	箇所	H19	9	6	4	↘		
	プレジャーボートによる騒音被害に関する苦情件数	件	H19	10	8	5	↘	指標内容と基準年度の実績値に照鑑が見られたため数値を精査の上訂正	
(6) 廃棄物・資源循環	県民1人が1日に出すごみの量	g	H18	948	866(H21)	900以下 ※5	↘		
	1年間に出る資源化されない産業廃棄物の量	千t	H18	240	224(H21)	200を維持 ※5	↘		
	1年間に出る資源化されない一般廃棄物の量	千t	H18	367	310(H21)	210を維持 ※5	↘		
	不法投棄など産廃不適正処理事案新規分年度内解決率	%	※6	71	79.5	80	↗		

※1 「全小学校」には、「県内の市町立小学校」のほか、「県立特別支援学校、国立小学校、国立特別支援学校、私立小学校、滋賀朝鮮初級学校、日本フィンランド学校」を含む。また、実施年度に対象学年がない場合は、全小学校から除外している。

※2 「県の鳥カイツブリの生息数」の基準年の欄の数字はH17～H19年度までの平均値

※3 「琵琶湖の透明度」は、比較的年変動が大きく、6.1m(H16年度)、6.8m(H17年度)、7.7m(H18年度)、7.5m(H19年度)、6.8m(H20年度)、6.9m(H21年度)と推移している。琵琶湖水質調査での北湖中央部9地点の年間平均透明度。

※4 「琵琶湖の水質」は、目標値設定の基となっている「第5期琵琶湖に係る湖沼水質保全計画」(平成18～22年度)における基準年である平成17年度の実績値を示している。

※5 「県民1人が1日に出すごみの量」、「1年間に出る資源化されない産業廃棄物の量」、「1年間に出る資源化されない一般廃棄物の量」は、平成23年度に「第三次滋賀県廃棄物処理計画」の策定を行い、平成27年度目標値を設定する予定。

※6 「不法投棄など産廃不適正処理事案新規分年度内解決率」の実績の数値は、H14年度～H18年度の平均値を示している。